



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

2011年8月28日 No.764

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL.3786-6674



共産党 品川

検索

区民
公募し

品川版事業仕分け

福祉・教育に「効率とコスト」迫る

対象事業：図書館の運営

品川区 の評価	見直し	区民の生涯学習活動支援に必要。区が実施主体となるべきだが、低コストで高サービスをめざし委託拡大など効率化を図る。
------------	-----	--



評価委員 の評価	継続	運営にかかるコストを十分に意識したうえで、より良いサービスの提供を目指し、さらに一層の工夫に努めること。
-------------	----	--

対象事業：児童センターの運営

品川区 の評価	見直し	在宅子育てと中高生の支援として機能強化が求められるが、委託の拡大など更なる効率化を図る。
------------	-----	--



評価委員 の評価	継続	児童センターの基本的な機能や役割を新しい状況に応じて見直し、充実させていくとともに、コストについても十分に検証していくこと。
-------------	----	--

区民参加による行政評価Ⅱ品川版「事業仕分け」が7月31日(日)と8月6日(土)に一般公開で行われました。福祉や教育にも効率化とコスト削減を求める品川区は、行政評価対象事業に図書館や児童センターの運営に外部委託拡大を提案してきました。

品川区は、図書館と児童センターの運営について外部委託を拡大する「見直し」としましたが、評価委員は「継続」としました。



その他の対象事業

	結婚サポート	高齢者の生きがいづくり	地域における健康づくり	水辺の利活用	マイバッグ運動推進	区民に対する災害情報発信
品川区 の評価	見直し	継続	継続	見直し	見直し	継続
評価委員 の評価	見直し	継続	見直し	見直し	見直し	継続

今回、行政評価を行ったのはあらかじめ区当局が「継続」や「見直し」と結論を出していた8事業。事業の「必要性」「代替性」「効率性」などで議論しました。

評価委員の評価結果で「継続」

となったのが、図書館の運営、高齢者の生きがいづくり、児童センターの運営、区民に対する災害情報の提供の各事業。「見直し」とされた事業は、結婚サポート、地域における健康づくり、水辺の利活用の推進、マイバッグ運動推進でした。「拡充」および「廃止」と評価された事業はありませんでした。区は評価・提言を受け、事業見直しなどに着手すると説明しています。

◆
なお、行政評価委員は12人。

公募区民3名と区内団体関係2名、区議会議員5名で学識経験者2名が正副委員長を務めました。共産党区議団から中塚亮議員が委員として参加しました。

図書館と児童センター

外部委託拡大の 区方針に異論

品川区の区民参加による行政評価は初めて。ねらいは区民評価を「錦の御旗」にした行革の推進です。区は図書館と児童センターの運営に外部委託を拡大する「見直し」でしたが、評価委員は「継続」としました。

今回の行政評価8事業のなかで、特に図書館と児童センターの運営をどうするかが焦点になっていました。区は事前に行った内部評価で図書館と児童センターとも効率化のために外部委託の拡大という「見直し」の結論を出しており、行政評価委員からも同意を得て委託を拡大しようとしていました。

しかし、行政評価委員会の審議では、児童センターの運営について委員から「効率化で委託の拡大はやめるべき」、「効率化

に重きを置くべきでない」、「見直しより改善」など異論が相次

ぎ、区の評価とは違う「継続」という結果になりました。一方、評価委員会の評価は児童センター、図書館とも「コストに意識」、「コストの検証」という意見を付けており、区が計画している委託拡大にも可能性を残しています。

行政評価なら区民目線で

認可保育園は今年4月も406人が入れませんでした。深刻な保育園不足は大規模再開発で巨大マンションを建設したのにそれに見合った保育園をつくらなかったことも原因です。

ところが、品川区は今後10年間子どもが増えると見込みながら、「いま保育園をつくと将来財政負担になる」と既存保育園への「詰め込み」や民間保育園の誘致などで乗り切る考えです。行政評価するなら認可保育園をつくろうとしない保育行政こそすべきです。

さらに、700億円貯め込みながら特養ホームは建設されず、国保料は毎年値上げ。販売不振でも大規模開発・超高層マンション建設は莫大な税金で推進。こんな区政運営も区民目線で評価すべきです。



お困りのときは、いつでも
ご相談ください
みやざき克俊事務所
TEL 3786-6674
無料法律相談は
9月16日(金)